

# 子どもがつくる算数 複式ガイド学習

## 1 算数科研究の歴史

本校では、平成元年から30年以上、算数科教育を研究しています。複式学級では、2つの学年が同じ教室で学習をします。別々の内容を学習しようとするとき、学級担任は一人で両方の学習を進めなければなりません。そこで、担任が一方の学年を見ている間も、子どもたちが自分たちで学習をすすめることを目指してきました。

## 2 子どもがつくるガイド学習

母子小学校では、「子どもがつくる算数科学習」の子どもの姿として、次の3つのことを考えています。

- 自ら学習に主体的に関わっていく。
- 自分たちの学習を自分たちで創り上げる。
- 学習に対して、常に課題意識と見通しを持って取り組む。

「子どもがつくるガイド学習」では、まず、ひとり学習で学習の構えと見通しを持ちます。そして、ガイド学習の中の「コミュニケーション」、つまり、おたずね等によって学習の深化をはかり、新たな学びへとつなげていきます。



相手にわかりやすいように、指で指しながら説明します。



「今日はどんな勉強をするのかな。」  
共同学習者と「さんすうのおはなし」。



困った時は、相談して、課題解決に向かっていきます。



「どうしてその式にしたのですか。」というおたずねを受けて、ことばの式で説明します。



「どうしてその図をかいたのかな。」発表者の説明を聞きながらおたずねを考えていきます。そのおたずねが、学びを深めていきます。

### 3 校内研修会

市の内外を問わず、県外からも、たくさんの先生が本校の算数の学習を参観に来られます。母子小学校の子どもたちの算数の学習が広く注目されています。

#### ① 第1回公開授業研修会(校内研修会) 令和7年6月3日(火)

学年		単元名	指導者
複式	3年	表とグラフ	野垣 佳代
	4年	垂直・平行と四角形	

【講師】 藤原 綾香先生(三田市立本庄小学校)

#### ② 第2回公開授業研修会(校内研修会) 令和7年6月16日(月)

学年		単元名	指導者
単式	1年	ひきざん(1)	田中 満理奈 酒井 皓
複式	5年	割合(1)	武田 政幸 酒井 皓
	6年	分数÷分数～割合を表す分数～	

【講師】 奈良女子大学附属小学校教諭 河田 慎太郎 先生

### 4 研究発表会

「子どもの深い学びをめざしたつなぐ力の育成～子どもがつくる算数科学習を通して～」をテーマとして研究を進めてきました。その中で、ひとり学習、おたずね、つなぐ力について、校内研修会などを通じて研究を深めてきました。毎年9月下旬～10月中旬に研究発表を行い、県内外の先生と意見交流を図っています。

また、兵庫県内の小規模で複式を持つ小学校を訪問し、研修会において母子のガイド学習のすすめ方やガイド学習で大切にしている考え方について発信をしています。これらの交流を通して、これまで積み上げてきた母子の研究をさらに深めていきたいと考えています。

#### ○母子小学校研究発表会 令和7年度三田市教育委員会指定 9月26日(金)

学年		単元名	指導者
単式	1年	3つのかずのけいさん	田中 満理奈 酒井 皓
複式	3年	あまりのあるわり算～あまりを考えて～	野垣 佳代
	4年	式と計算の順じよ	
複式	5年	見方・考え方を深めよう(2)	武田 政幸 酒井 皓
	6年	見方・考え方を深めよう(1)	

【講師】 奈良女子大学附属小学校教諭 河田 慎太郎 先生

